

4 費目別指数の動き

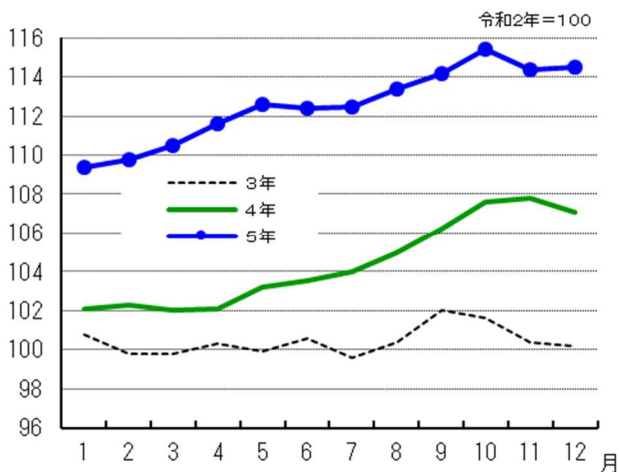
(1) 食料

年平均指数は112.6となり、前年に比べ7.8%の上昇となった。

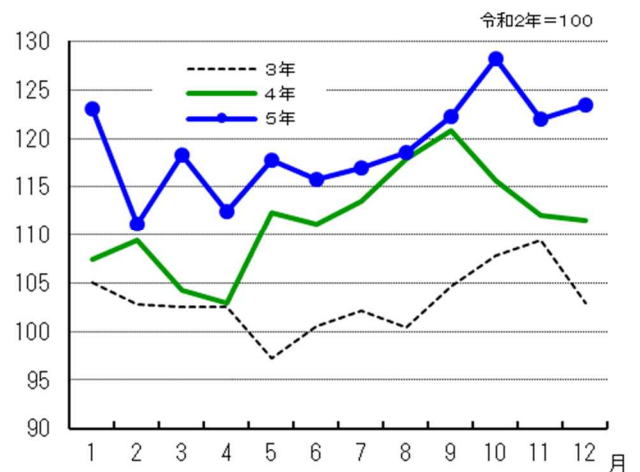
生鮮食品についてみると、生鮮魚介が6.8%の上昇、生鮮野菜が6.2%の上昇、生鮮果物が9.0%の上昇となり、生鮮食品全体では7.1%の上昇となった。

生鮮食品以外の内訳をみると、穀類は4.1%の上昇、魚介類は8.9%の上昇、肉類は5.5%の上昇、乳卵類は17.9%の上昇、野菜・海藻は6.0%の上昇、果物は8.5%の上昇、油脂・調味料は6.8%の上昇、菓子類は9.9%の上昇、調理食品は10.9%の上昇、飲料は9.0%の上昇、酒類は6.7%の上昇、外食は5.3%の上昇となった。

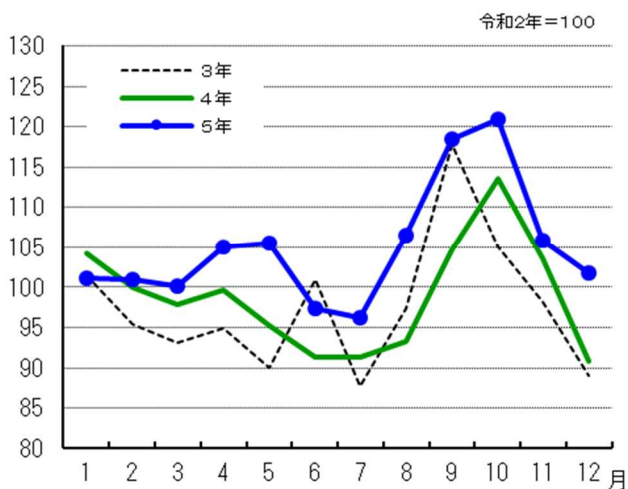
食料指数



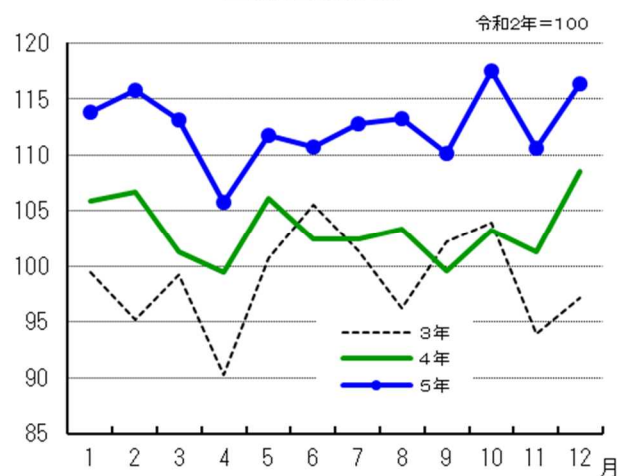
生鮮魚介指数



生鮮野菜指数

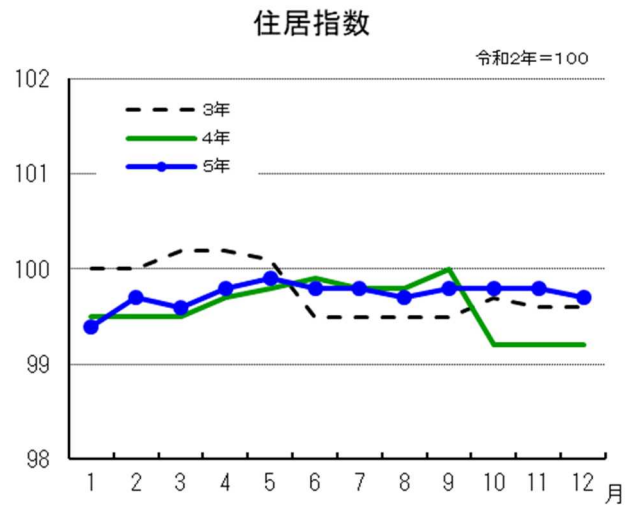


生鮮果物指数



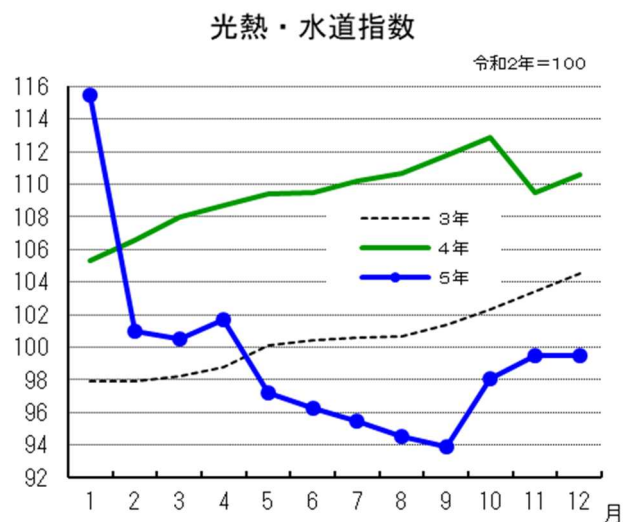
(2) 住居

年平均指数は99.7となり、前年に比べて0.1%の上昇となった。内訳をみると、家賃は0.3%の上昇、設備修繕・維持は0.6%の下落となった。



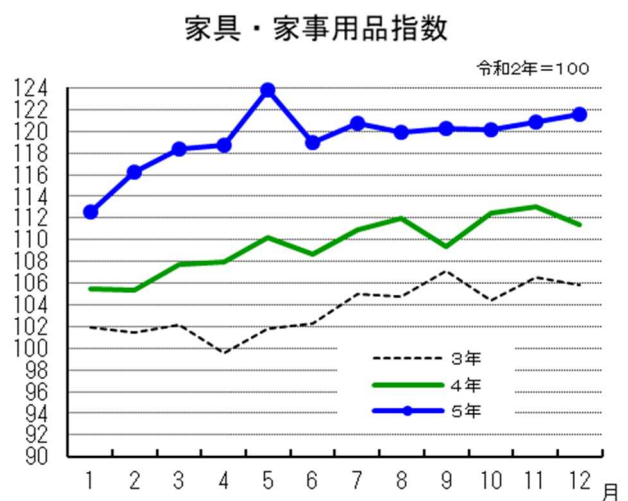
(3) 光熱・水道

年平均指数は99.4となり、前年に比べ9.1%の下落となった。内訳をみると、電気代は16.6%の下落、ガス代は3.4%の下落、他の光熱は1.6%の上昇、上下水道料は2.7%の上昇となった。



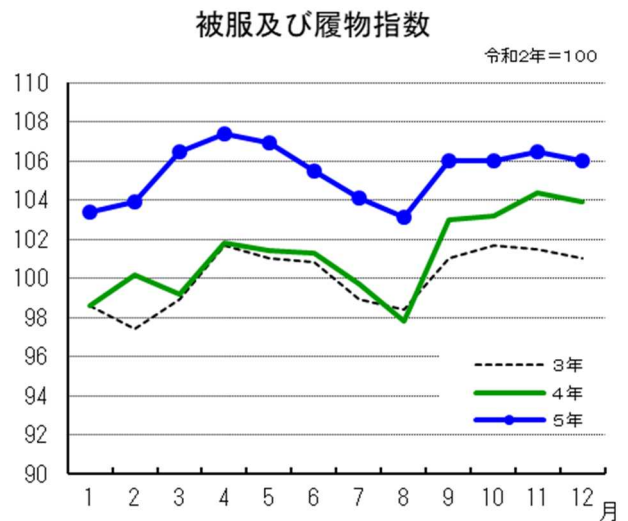
(4) 家具・家事用品

年平均指数は119.4となり、前年に比べ9.0%の上昇となった。内訳をみると、家庭用耐久財は8.6%の上昇、室内装備品は8.7%の上昇、寝具類は5.9%の上昇、家事雑貨は6.6%の上昇、家事用消耗品は14.5%の上昇、家事サービスは0.4%の上昇となった。



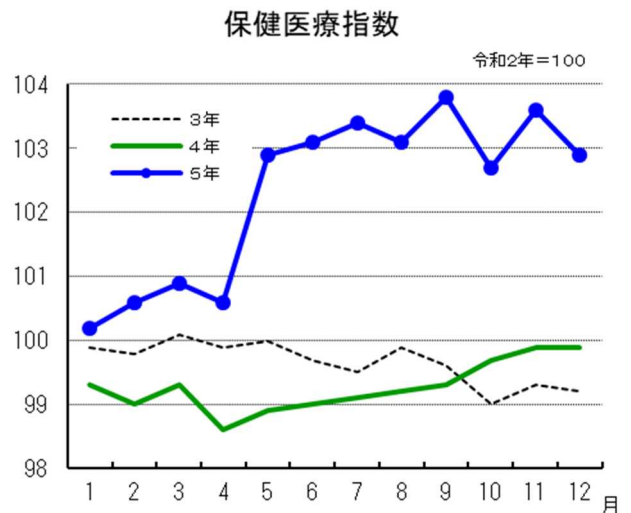
(5) 被服及び履物

年平均指数は 105.5 となり、前年に比べ 4.2%の上昇となった。内訳をみると、衣料は 4.9%の上昇、シャツ・セーター・下着類は 4.1%の上昇、履物類は 2.4%の上昇、他の被服類は 0.2%の上昇、被服関連サービスは 12.0%の上昇となった。



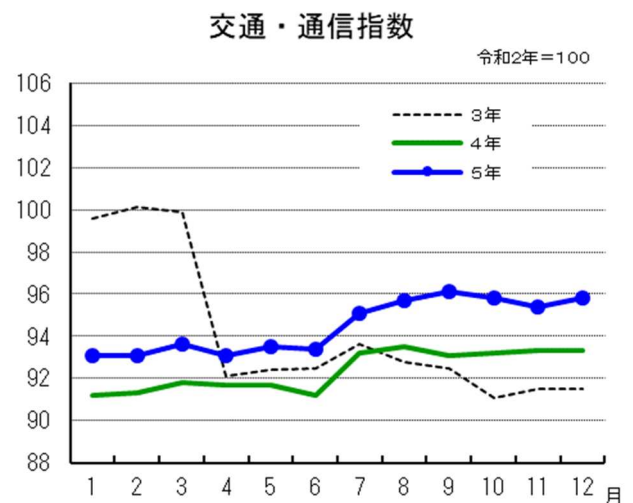
(6) 保健医療

年平均指数は 102.3 となり、前年に比べ 3.1%の上昇となった。内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品は 3.3%の上昇、保健医療用品・器具は 11.1%の上昇、保健医療サービスは 0.1%の下落となった。



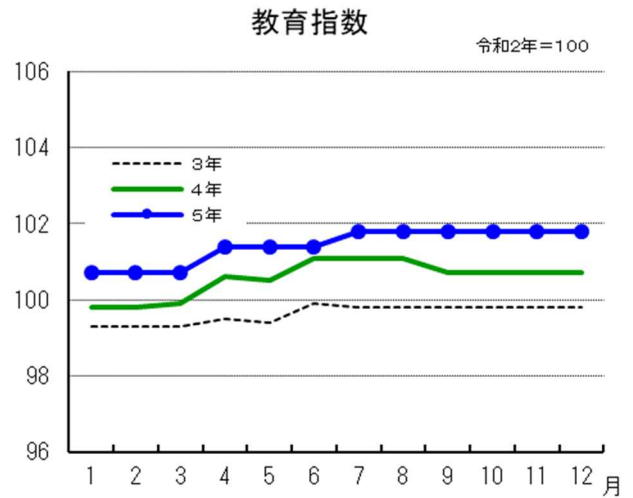
(7) 交通・通信

年平均指数は 94.5 となり、前年に比べ 2.3%の上昇となった。内訳をみると、交通は 1.3%の上昇、自動車等関係費は 1.0%の上昇、通信は 6.4%の上昇となった。



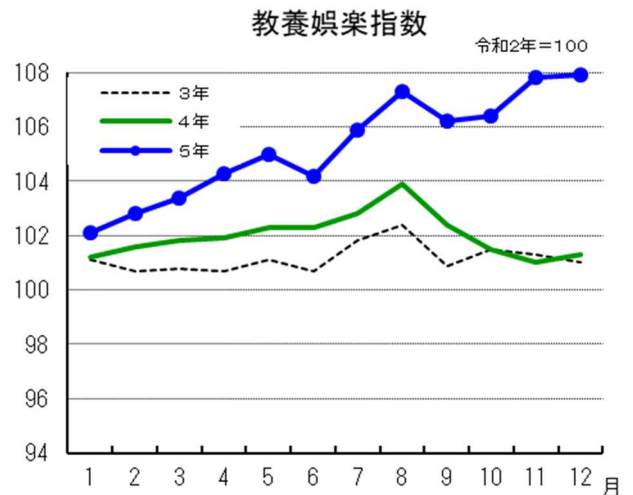
(8) 教育

年平均指数は 101.4 となり、前年に比べ 0.9% の上昇となった。内訳をみると、授業料等は 0.3% の上昇、教科書・学習参考教材は 1.2% の上昇、補習教育は 2.2% の上昇となった。



(9) 教養娯楽

年平均指数は 105.3 となり、前年に比べ 3.2% の上昇となった。内訳をみると、教養娯楽用耐久財は 2.0% の上昇、教養娯楽用品は 4.4% の上昇、書籍・他の印刷物は 2.1% の上昇、教養娯楽サービスは 3.1% の上昇となった。



(10) 諸雑費

年平均指数は 103.4 となり、前年に比べ 1.3% の上昇となった。内訳をみると、理美容サービスは 3.7% の上昇、身の回り用品は 5.5% の上昇、たばこは 0.5% の上昇、理美容品と他の諸経費は同じ水準となった。

